

互いの学びの質を高め合う協同性を育てるための支援のあり方
- 個性を生かした異年齢とのかかわりを中心に -

第2学年 生活科学習指導案

幼稚園教育，生活科研究室

1 単元 「みんなあつまれやっほいほい」

2 指導観

【こんな子どもだから】

【2年生】

本学級の子どもたちは，1学期の「たんけんはっけん大ぼうけん」の学習で校区探検に出かけ，校区の特徴に気付き，見つけた自慢を発表している。また，普段何気なく通っている通学路も，見方を変えて歩くことで，自然の変化や町の様子について新たな発見があることに気付くことができた。これらの活動を通して，自分たちの住んでいる地域に親しみや愛着をもち，地域への関心が高まりつつある。また，1学期に児童集会を経験し，クラスでゲームの出し物をしてたくさんのお客さんと呼んで遊んだことで，みんなで楽しむ活動についてある程度はイメージできている。

地域の人々や異年齢とのかかわりについては，まず，運動会で「まつり唄」の踊りを地域の方から学び，一緒に踊る活動を通して，地域の人々が自分たちの学習に協力してくれることに感謝し，これからも大切にしようという気持ちをもっている。3年生とのかかわりについては，1年生の時にクラスのゲーム遊びに招待してもらっている。その中で，「2年生ってすごいな。」という気持ちを抱いていた子も多い。しかし，その後のかかわりの機会はなく，休み時間の遊びの中でもほとんど見られない。

課題に対しては，どの子どもも意欲的に取り組み，活動を通してそれぞれの子どもに気付きが生まれてきている。しかし，気付きをもとに新しく考えたり工夫したりする姿はあまり見られない。子どもの気付きが深まり，活動を工夫しようとするような交流の場が必要である。

【3年生】

本校の3年生は，社会科で自分たちが住んでいる町に興味をもち，意欲的に調べている。校区探検をする中で，自分たちが住む町の様子を詳しく知り，特に興味をもったことについては，インタビューをして調べ，地域の人々とのかかわりも深めている。2年生よりも校区の様子や地域の人に詳しく，自分が住む地域の特色をよく理解しているといえる。また，2年生のときには各クラスで「みんなあつまれやっほいほい」で，いろいろな人を招待して楽しんでもらう活動をしている。クラス内でリハーサルをした後，保護者と地域の方を呼んで一回目の活動をし，その反省をもとに1年生を呼んで二回目の活動を行っている。また，学校全体の集会行事では，各クラスの出し物にも二度取り組んでおり，経験も豊富である。

課題に対し，意欲的に取り組む子どもが多い。総合的な学習の時間の発表でも，調べたことを相手にわかりやすく伝えるために意欲的に資料を作成し，発表することができた。今後も，相手にわかりやすく話す力をさらに伸ばすための経験を積むことが大切である。

【こんな教材で】

【2年生】

「みんなあつまれやっほいほい」は、自分たちの願いをもって、地域のよさや自慢を取り入れたお祭りを開くものである。今までかかわってきた地域の方をゲストティーチャーとして迎え、地域のことについての話を聞いたり、「まつり唄」の踊りを踊ったりする中で、地域や、地域に住む人への親しみや愛着をもつことができる。また、よりよいお祭りにするために、昨年の経験を生かして3年生からアドバイスしてもらうことで、3年生や同じ学年の友達とのかかわりが増え、それぞれの個性を生かしながら活動することができる。これらの活動を通して、新しいことに気付き、考えたり工夫したりすることができると思う。本教材は、たくさんの人とのかかわりを通して、今後の活動にも生かすことのできる人とのつながりをもちながら、学びの質を高めることができる教材である。

【3年生】

昨年の活動や、全校集会での経験を生かして活動することができる教材である。異学年児童との交流の機会が少ない3年生の児童にとっては、2年生が伝えようとしていることに気を付けて聞いたり、自分の考えを下級生に分かりやすく伝えようと工夫したりできるよい機会であるともいえる。自分の考えを相手に伝え、理解してもらったり、喜んでもらったりすることで、自分のこれまでの学習は意味のあるものであり、下級生の役に立つことができた自分に自信をもつことができるのではないかと考える。

【こんな子どもに】

【2年生】

友達や地域の人々、3年生など身近な人々に進んでかかわり、尋ねたり教えてもらったりする中で、みんなで考えたテーマに向かってお祭りをつくりあげようとする子ども。

身の回りの素材や自然の物を利用しておもちゃを作ったり、遊びのルールを工夫したりして楽しんで遊ぶことができる子ども。

お祭りの計画を立てて実行する中で、地域の人々との交流を深め、地域のよさに気付いたり地域への愛着を深めたりする子ども。

交流した地域の方や3年生と、これからもかかわりを広げていくことができる子ども。

【3年生】

これまでの体験や学習で学んだことを生かして、自分の考えを2年生に分かりやすく伝え、一緒に楽しく活動することができる子ども。

【こんな方法で】

互いが認め合い、高め合う活動づくり

意識が連続する課題設定の工夫

- ・ 1学期の学習を生かして、地域のよさや、地域に伝わる踊りをお祭りに取り入れることで、地域への親しみをもち、お祭りへの意識を高めながら活動できるようにする。
- ・ お祭りのテーマを共有することで、みんなが笑顔になれるようなお祭りであると

いうことを常に意識できるようにする。

- ・ 各クラスで話し合ったことをもとに代表者が話し合い，お祭りの内容を決めていくことで，自分たちでお祭りをつくっているという意識をもたせる。
- ・ 身近な人からのアドバイスを生かしながら活動をよりよいものにし，充実させていくことができるようにする。

関係を生み出すグループ構成の在り方

- ・ 子どもの興味・関心をもとに5人程度のグループをつくることで，子ども同士がかかわり合い，学び合いながら活動が進むようにする。

個性を生かした異年齢とのかかわらせ方

異年齢とのかかわりを位置づけた学習過程の工夫

- ・ 地域の方から話を聞くことで，今まで気付かなかった地域のよさに気付くことができるようにする。
- ・ 3年生との交流を取り入れる。いろいろな人を呼んで楽しんでもらう活動を経験している3年生からアドバイスをもらうことで，お祭りをよりよくするための工夫を考えることができるようにする。

学びの質をとらえた見取り

子どもの言葉，活動，振り返りカードなどからの見取り

- ・ 振り返りカードに，感じたこと，わかったこと，もっと知りたいことを分けて書かせることで，子どもの学びを見取り，環境を構成し直したり，かかわりが生まれるような声かけをしたりして指導に生かす。

3 単元の目標

身の回りの素材や自然の物を利用しておもちゃを作ったり，遊びのルールを工夫したりして，身近な人と一緒に遊ぶ楽しさを味わうことができる。

お祭りの計画を立て，実行する中で，地域の人々との交流を深めるとともに，地域への愛着をもつことができる。

友達や地域の方とかかわることで，友達や自分のよさに気付くことができる。

4 指導計画

		学習活動と内容	教師の支援	期待できる姿
つかむ	1	いろいろなお祭りについて知っていることを話し合う。	子どもたちの経験を発表させながら，知っていることを認め，お祭りには人々の願いが込められていることを知らせる。 子どもたちがよく知っている校区の夏祭りを想起させ，「まつり唄」があることに気付かせる。	校区の夏祭りに行ったよ。 放生会に行ったよ。
	1	地域の方の話を聞く。	地域の方をゲストティーチャーとして迎え，話をしていただく。	初めて知ったよ。 この校区がますます好きになったよ。

	1	<p>自分たちのお祭りについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんなお祭りにしたいか考える。 <p>・だれを招待するか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校区のよさについて ・校区で行われている祭りについて ・「まつり唄」ができたいきさつや、それに込められている願いなど。 <p>前時のゲストティーチャーの話や、運動会で踊った「まつり唄」などを想起させる。</p> <p>地域の特色を生かした祭りになるような声かけをする。(「まつり唄」)</p> <p>お世話になっている人、身近な人について考えさせる。</p> <p>楽しい遊びえを教えてあげたい人について考えさせる。</p>	<p>自分たちでもお祭りをしたい。</p> <p>みんなが仲良くなるようなお祭りにしたい。</p> <p>「まつり唄」をみんなで踊って仲良くなりたい。</p> <p>お家の人や地域の方を呼びたいね。</p> <p>おじいちゃんやおばあちゃんを呼びたいな。</p> <p>1年生を呼んで、遊びの楽しさを教えてあげたいね。</p>
さぐる	1	<p>お祭りの計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お祭りの名前 <p>・お祭りの内容を決める。</p>	<p>各クラスで話し合った子どもたちの思いを大事にしなが、クラスの代表児童を集めてお祭りの名前を決定する。</p> <p>お祭りの願いに近付くための祭りの内容を考えさせる。</p> <p>ゲストティーチャーの話を想起させ、「まつり唄」を取り入れていけるようにする。</p> <p>事前に、お祭りに関係のある群読をしたり、歌を歌ったりしておく。</p> <p>事前に作っておいた牛乳パックや木の実で作った作品などを提示し、子どもの活動への意欲を高め</p>	<p>みんな友だちワクワクドキドキえがおまつり</p> <p>お店を出したい。</p> <p>おみこしを作りたい。</p> <p>「まつり唄」を踊りたい。</p> <p>群読をしたい。</p> <p>歌を歌いたい。</p> <p>ゲームみたいなことをして、みんなを楽しませたい。(輪投げ、魚釣り、くじびき)</p> <p>どんぐりやまつぼっくりでおもちゃを作りたい。</p> <p>牛乳パックが使えるそう。(小物入れ、おもちゃ)</p>

	<p>・学年全体で取り組むことと、クラスで取り組むことを決定する。</p> <p>1 クラスの出店を決定し、グループ分けをする。</p> <p>6 グループごとにおまつりに向けてのめあてを決め、何をいくつ作るか考え、準備を始める。</p>	<p>る。</p> <p>各クラスの案を取り入れ、決定していくことで、子どもが、自分たちで祭りをつくっていているという思いをもつことができるようにする。</p> <p>お祭りのテーマや活動場所を考えながら、自分たちにできそうな活動を考えさせる。</p> <p>やってみたい出し物の希望をとり、グループをつくる。</p> <p>子ども同士のかかわり合いが生まれるよう、人数を5～6人程度にする。</p> <p>自分の役割が決まったら、材料を集めておくよう声かけをする。</p> <p>グループの中でのリーダーを決め、リーダーを中心に話し合いを進めさせる。</p> <p>お祭りのテーマを達成するためのめあてを考えさせる。</p> <p>活動に必要と思われる物を準備しておく。</p> <p>おもちゃ作りの本や見本を準備する。</p> <p>自力で活動させ、何ができて何ができないのか、はっきりさせる。</p> <p>できるようになったことを友達に教えながら活動する。</p> <p>活動が難しくなってきたとき、誰か教えてくれそうな人はいないか考えさ</p>	<p>輪投げ ボーリング くじ</p> <p>おばけやしきをしたいけど、場所が狭いから難しいね。</p> <p>英語ゲームは、わからない人がいたらさみしい思いをするからやめよう。</p> <p>家にある牛乳パックが使いそうだね。</p> <p>公園にどんぐりが落ちていたよ。</p> <p>みんなが友達になれるようにするために、知らない人同士を対戦させよう。</p> <p>お祭りを盛り上げるために、おもしろい顔をしてみんなを笑わせよう。</p> <p>みんなが笑顔になれるように、ゲームに負けても景品をあげよう。</p> <p>給食のゼリーカップを取っておこう。けん玉作りに使えるね。</p> <p>けん玉のひもが細いとすぐからまってしまうね。</p> <p>こうやったらいいよ(活動する中で見つけたコツを教える)。</p> <p>()さんって、上手だね。</p> <p>景品が、これで足りるかな？</p> <p>お客さんは、楽しんでく</p>
--	---	---	--

1	3年生に招待状を書く。	せる。 今活動していること、困っていること、3年生に教えてもらいたいことを書かせる。	れるかな。 お祭りの内容を少し書こう。 自分が頑張ってきたことを書こう。
1 本 時	3年生からアドバイスをもらう。	事前に3年生に目的を話し、アドバイスの視点を与えておく。 ・遊び方(ルールや難易度) ・商品のこと(数,丈夫さ) ・店員の様子(声のかけ方や案内の仕方) ・その他(店のつくり方,並べ方など)	このゲーム,とても楽しいね。 1年生には難しいかもしれないね。 こんな言葉をかけてもらったうれしいよ。 お客さんの目を見て話すと気持ちが伝わるよ。 もっと笑顔で言うといいよ。 くじの景品が少ないね。 作り終わったからシールを貼ろう。 お客さんを呼ぶ練習もしないといけないね。
1	前時学習の振り返りを書かせる。 ・ほめてもらってうれしかったこと ・質問したこと ・アドバイスしてもらったこと ・その場で試してみたこと ・これから工夫しようと思うこと 3年生からもらったアドバイスをメモして,必要なものを準備する。	項目を分けて書かせる。 メモしたものを掲示し,3年生からのアドバイスを意識しながら活動できるようにする。達成した内容については,シールを貼るなどして,活動の状況が分かるようにする。	
1	お祭り本番に向けて招待状を渡す人を考え,書く。	書き方が思いつかない児童には,どんな招待状をもらったらうれしいか考えさせる。	
1	〇〇まつり唄,群読,お祭りの歌の練習をする。	各クラスで練習しているものを,学年全体で合わせる。	
5	もっと良いお祭りにするために工夫する。	3年生との交流で見えた課題を解決するため,必要な道具をそろえておく。	

	1	保護者を呼んで、お祭りをする。	アドバイスのメモを活用させる。 児童の頑張りを賞賛する。 声のかけ方が足りないグループは、一緒に声かけをする。	お客さんが少ないから呼んで来よう。
	2	1年生と、地域のお年寄りを呼んでお祭りをする。	一回目のお祭りでの反省を生かすことができるよう、声かけをする。	
深める	1	お祭りを振り返る。 ・めあては達成できたか。 ・活動を振り返って考えたこと。	地域の方々や3年生への感謝の気持ちをもつことができるようにする。 活動を振り返って、自分の成長についても考えさせる。	お客さんがたくさん来てうれしかった。 お客さんが喜んでくれた。 地域の方やお友達と一緒に活動して、できるようになったことが増えた。
	1	協力していただいた地域の方や3年生に感謝の気持ちを伝える。 ・お礼の手紙を書く	感謝の思いや、自分の成長を書くようにする。	〇〇のいいところをまた見つけたよ。

5 本時

平成20年10月8日(水) 体育館

6 本時の目標

【2年生】 3年生を呼んでリハーサルをし、アドバイスをもらいながら、お祭りのテーマに近付くための工夫を考え、改善する目標をもつことができる。

【3年生】 自分の考えを2年生に分かりやすく伝えることができる。
2年生にお祭りのアドバイスをすることで、自分自身の成長に気付くことができる。

7 本時指導の考え方

子どもたちはこれまでに、地域の方から夏祭りや「まつり唄」についての話を聞いたり、自分の経験を思い出したりしながら、祭りについてのイメージをもち、自分たちの祭りのめあてをもって活動をしてきている。身の回りにあるものを使ったり、牛乳パックを利用したりして、みんなが仲良くなる楽しいお祭りになるよう準備を進めているところである。

本時は、お祭りのリハーサルを行う。各グループにアドバイス役の3年生を呼び、社会科の学習や昨年の経験をもとにアドバイスをもらう時間である。3年生から、「みんなが仲良くなるためにはどうしたらよいか」という視点でアドバイスをもらうことで、お祭りを経験していない2年生には新たな気付きが生まれ、お祭りをもっと良くするために考え、工夫する活動へとつなぐことができる。昨年お祭りに招待してくれた3年生を呼んで2年生が質問を

することで、3年生の学びが深まったり自信がついたりすることも考えられる。2年生と3年生、または2年生同士のかかわりが深まり、互いの気付きが深まるよう、賞賛したり、声かけをしたりしていきたい。

8 準備

【子ども】2年生・・・お祭りで使う道具

【教師】アドバイスの視点を書いたカード，グループ学習の流れを書いたカード
CD デッキ

9 本時の展開

学習内容	指導上の留意点
<p>1 本時のめあてをもつ。 前時までの学習を振り返る。 3年生に書いた手紙の内容を発表し、本時めあてをもつ。 ・遊び方（ゲームのルールや難易度） ・商品のこと（製作物の数，丈夫さ） ・店員の様子（声のかけ方や案内の仕方） ・その他（店のつくり方，並べ方など）</p> <p>【2年生】 お祭りをもっとよくするために，3年生からアドバイスをもらおう。</p> <p>【3年生】 2年生のいいところや，お祭りをもっと良くするための工夫を，わかりやすく伝えよう。</p> <p>2 グループごとに活動する。 お店の紹介をする。 ・2年生はお店の人になること ・3年生はお客さんになること</p> <p>3年生からアドバイスをもらったり，3年生に質問をしたりする。</p> <div data-bbox="151 1747 443 1881" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;"> <p>輪投げは難しいかな。</p> </div> <div data-bbox="459 1747 782 1881" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;"> <p>1年生にはちょっと難しそうだから，距離を短くしたほうがいいよ。</p> </div> <div data-bbox="151 1904 443 2038" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;"> <p>牛乳パックのおもちや は楽しめるかな。</p> </div> <div data-bbox="459 1904 782 2038" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;"> <p>牛乳パックに貼る紙が はじめからあったらできそうだよ。</p> </div>	<p>事前に，グループごとに場の設定をしておく。</p> <p>これまでの学習を想起させながら，お互いの意欲を高め，本時学習のめあてをもたせる。</p> <p>3年生への手紙に書いたことを発表させることで，アドバイスの視点を明確にする。</p> <p>2年生には，お店の紹介をしてアドバイスをもらうことと，分からないことを質問することを伝える。</p> <p>3年生には，良いところを褒めること，工夫が必要なところはアドバイスしたり，実際にやって見せたりすることを伝える。</p> <p>グループごとにあいさつをすることから始め，かかわりやすい場の雰囲気をつくる。</p> <p>グループ活動がスムーズに進むように，アドバイスの視点を書いたカードと，グループ学習の流れを書いたカードを準備する。</p> <p>3年生が2年生の頑張りを褒めたり，アドバイスしたりしていることを認めることで，2年生と3年生の活動への意欲を高める。</p> <p>各グループを回りながら，子ども同士のかかわりをメモしておき，学びの質を見取る手がかりとする。</p> <p>アドバイスや質問があまり出ていないときは，子どもの言葉や表情をしっかりと見な</p>

声のかけ方はいいかな。

声が大きくていいね。「こちらへどうぞ」と手を引いてもらうとうれしいし、もっとよくなると思うよ。

もっとお店らしくできないかな

看板がもっと目立つようにし、わかり色をぬったらいいよ。

3 今日の学習を振り返る。

グループで、2年生が本時で3年生から学んだことや、次の時間に生かしていきたいことを話す。(グループでの活動)

本時で交流したことのよさを互いに伝え合う。(全体での活動)

がら、かかわり合いがうまれるよう声かけをする。

3年生からのアドバイスは、言葉だけでなく、その場で改善できることは実際にやってみせてもらったり、物を動かして試してもらったりすることも大事にしていく。

3年生やグループの友達と、めあてに向かって進んでかかわろうとしている。

【行動・発言・記録分析】

お祭りをもっとよくするために、進んで質問をしたり、アドバイスを受けたことを試してみたりしている。

【行動・発言・記録分析】

お祭りをもっとよくするための工夫に気付くことができる。

【行動・発言・記録分析】

アドバイスの視点を中心に、3年生から褒めてもらってうれしかったことや、これから工夫していこうと思うことなどを交流させる。

お祭りをよりよくするための工夫に気付き、次時からの活動への意欲をもつことができる。

【行動・発言・記録分析】